

日糧製パン株式会社



札幌証券取引所単独上場合同説明会資料 2007年10月3日

上場市場：札幌証券取引所（証券コード2218）

連絡先：011-851-8131（日糧製パン）

URL：<http://www.nichiryō-pan.co.jp/>

目次

① **会社概要** (P3~P15)

② **経営理念** (P16~P19)

③ **食品安全への取組み** (P20~P24)

④ **中期経営計画** (P25~P28)

⑤ **株主還元** (P29~)

① 会社概要

② 経営理念

③ 食品安全への取組み

④ 中期経営計画

⑤ 株主還元

会社概要

社名	日糧製パン株式会社
所在地	北海道札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
代表者	代表取締役社長 兼 社長執行役員 吉田勝彦
創業	1943年（昭和18年）10月
従業員数	536名（連結）（2007年3月31日現在）
事業内容	パン・菓子等の製造及び販売 並びにその他の食料品の販売
連結対象子会社	（株）ノースデリカ
決算	3月
資本金	10億5,197万円（2007年3月31日現在）
株主数	1,366名（内、単元株数以上の株主数 890名）
発行済株式総数	21,039,480株
単元株数	1,000株

沿革

- 昭和18年10月 (1943年) 北海道報国製菓有限会社設立
- 昭和21年 5月 (1946年) 日本糧産化学工業有限会社に改称
- 昭和23年12月 (1948年) 株式会社に改組
- 昭和34年 3月 (1959年) 日糧製パン株式会社に改称
- 昭和41年12月 (1966年) 東京へ進出
- 昭和52年10月 (1977年) 札幌証券取引所へ株式上場
- 平成 2年 1月 (1990年) 「**チーズ蒸しパン**」が大ヒット
(平成2年度 日経優秀製品授賞、日経流通新聞賞優秀賞授賞)
- 平成11年 6月 (1999年) 東京製パン事業から撤退
- 平成17年 4月 (2005年) 株式会社味車 麺類・食品事業から撤退
同時に米飯部門を株式会社ノースデリカに営業譲渡
- 平成17年 7月 (2005年) 食パン新ブランド「**絹艶**」発売
- 平成19年 4月 (2007年) 旭川事業所を支店に改称



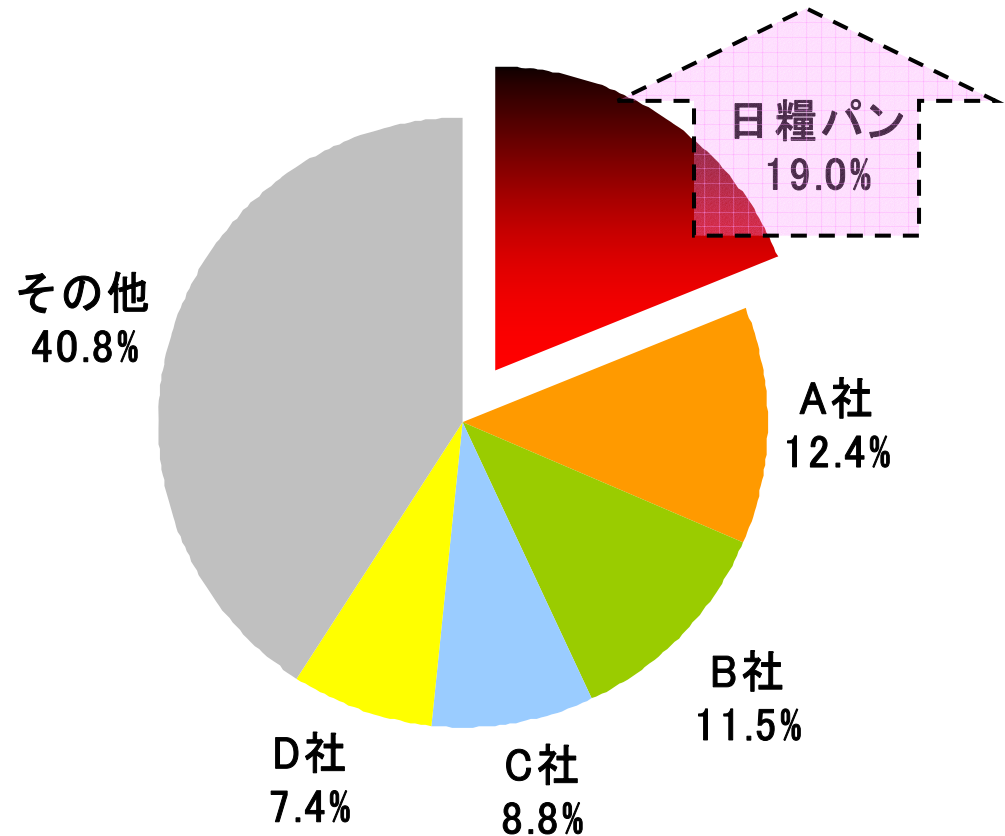
パン業界の市場構造

全国パン市場・・・13,336億円

	企業名	パン売上高	
			シェア
1	山崎製パン	3,733	28.0
2	敷島製パン	1,239	9.3
3	フジパン	850	6.4
4	神戸屋	569	4.3
5	タカキベーカリー	366	2.7
	⋮		
	上位10社計	8,074	60.5
	⋮		
15	日糧製パン	100	0.7
	⋮		
	上位20社計	9,080	68.1
	その他	4,256	31.9
総市場規模		13,336	100.0

北海道のパン市場・・・510億円

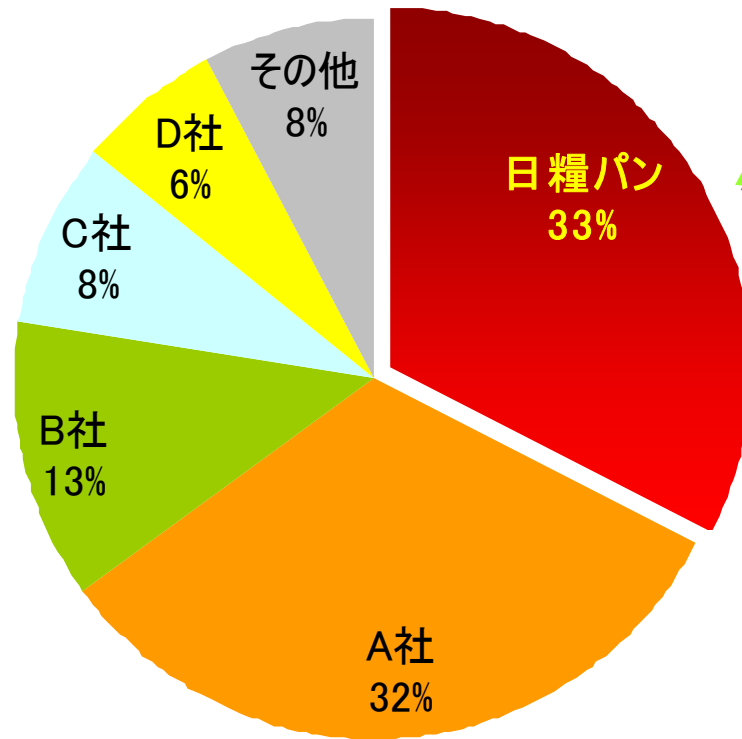
北海道においてトップシェア



出処: 当社推定値

道内ホールセール パン・菓子業界について

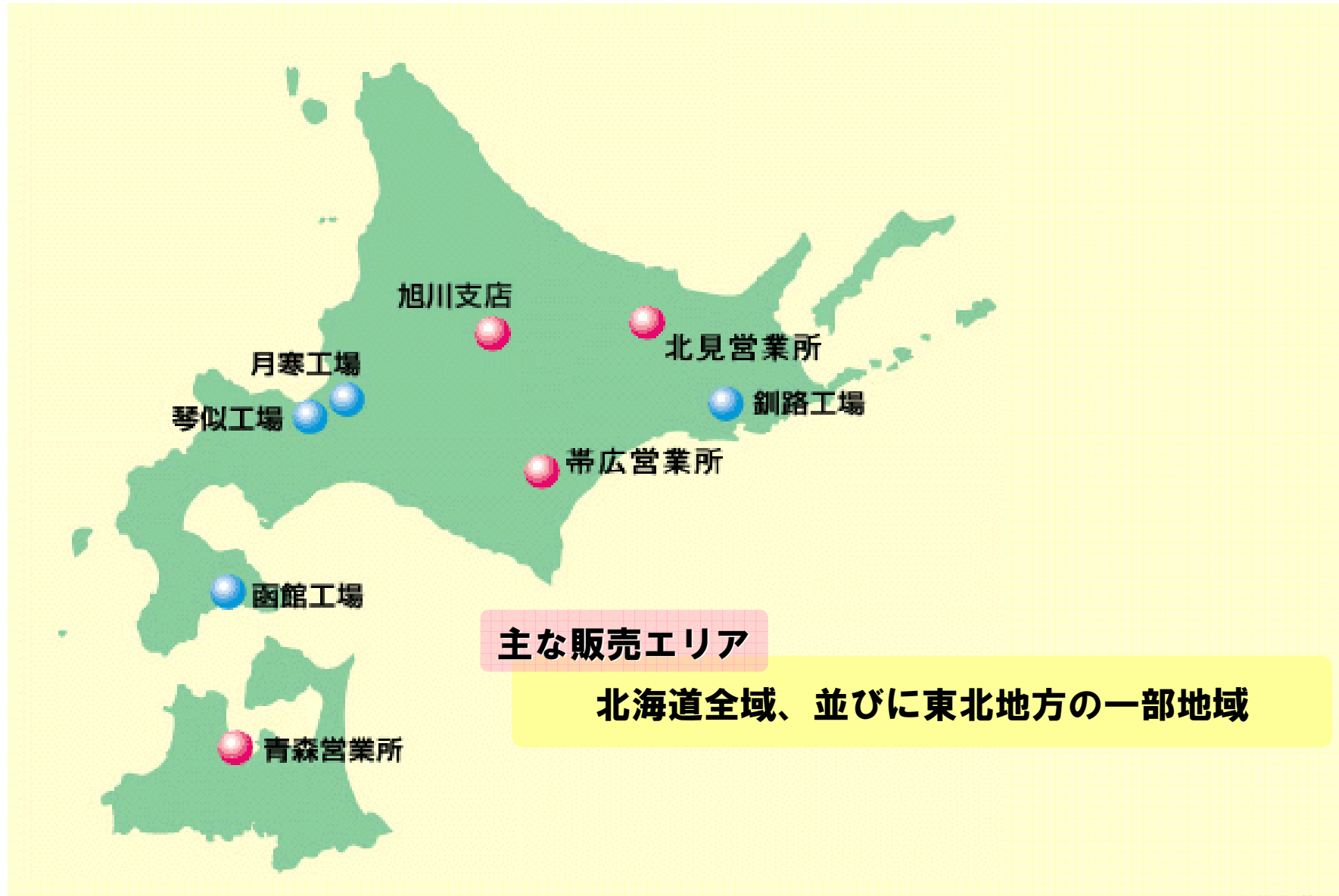
北海道のホールセールパン・菓子メーカーの売上高547億円



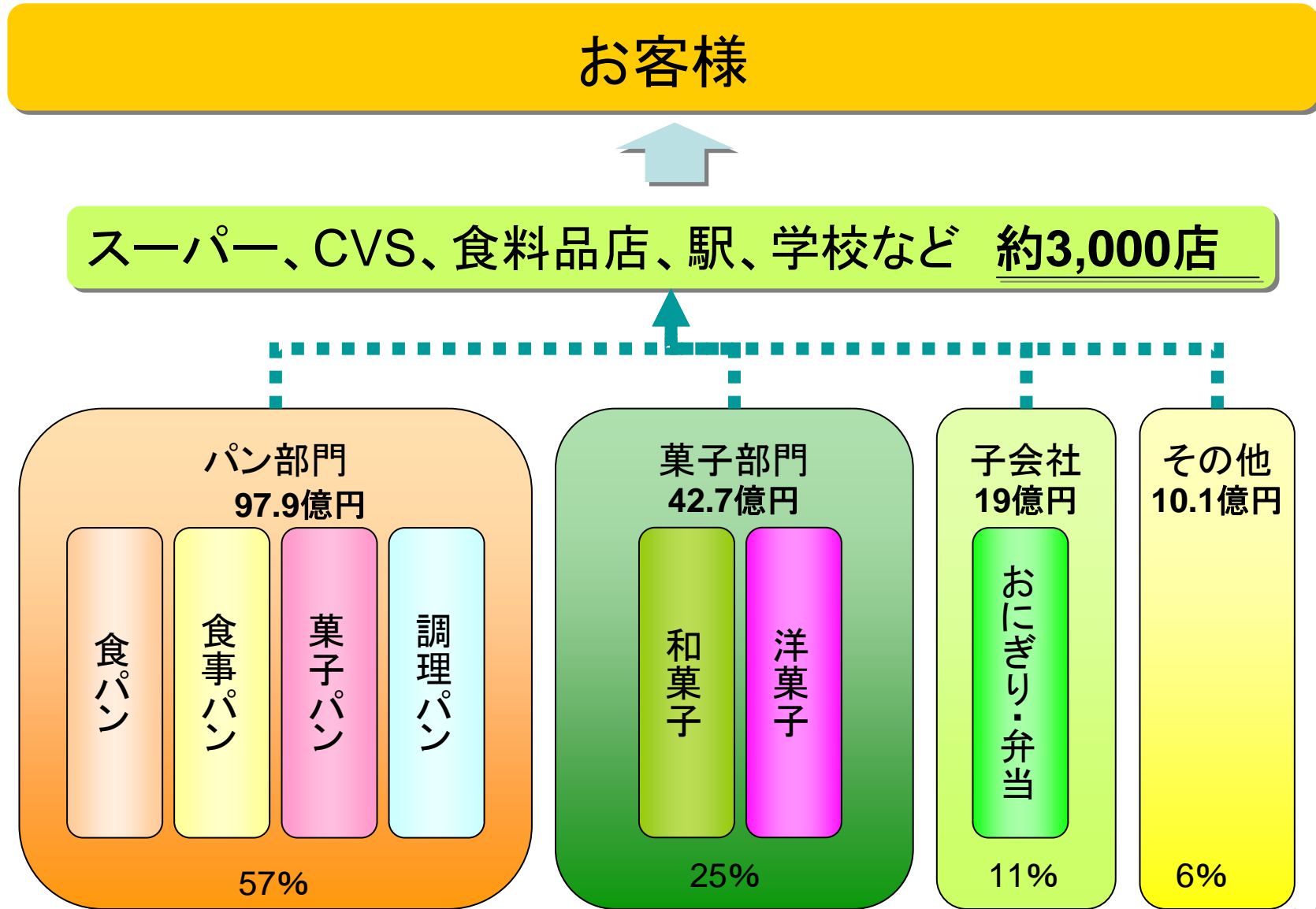
北海道における
トップメーカー

2007年当社調査推定値

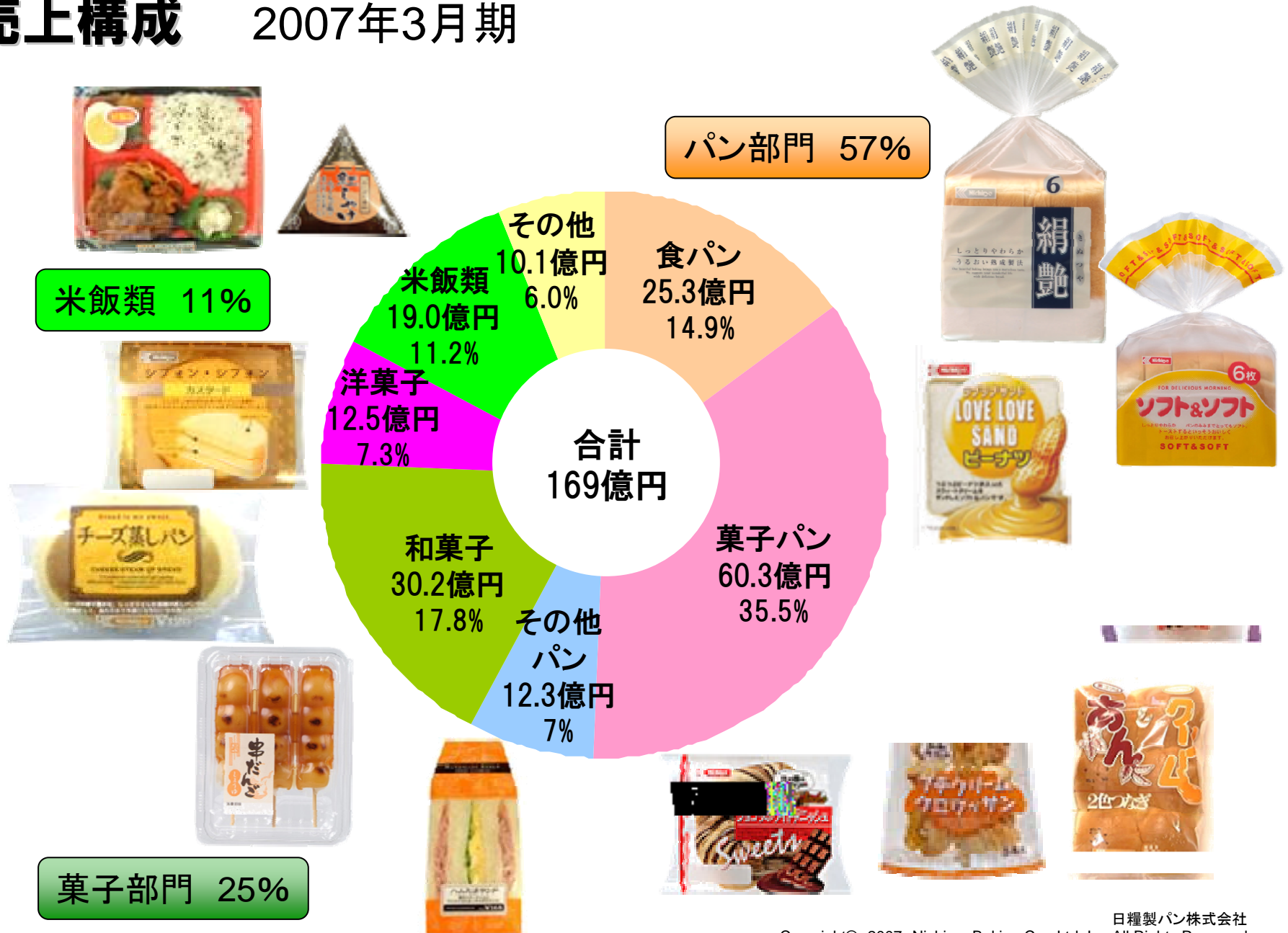
事業拠点



当社の事業・販売構造



売上構成 2007年3月期



商品の歴史

ウインザー



ウインザー6

ルーブル



ローヤル



昭和
40~50年代

平成元年



ソフト&ソフト

平成2年

チーズ蒸しパン



平成10年

ブランジェ



平成17年

絹艶



日糧パン



日糧製パン株式会社

Copyright© 2007 Nichiryō Baking Co., Ltd, Inc All Rights Reserved

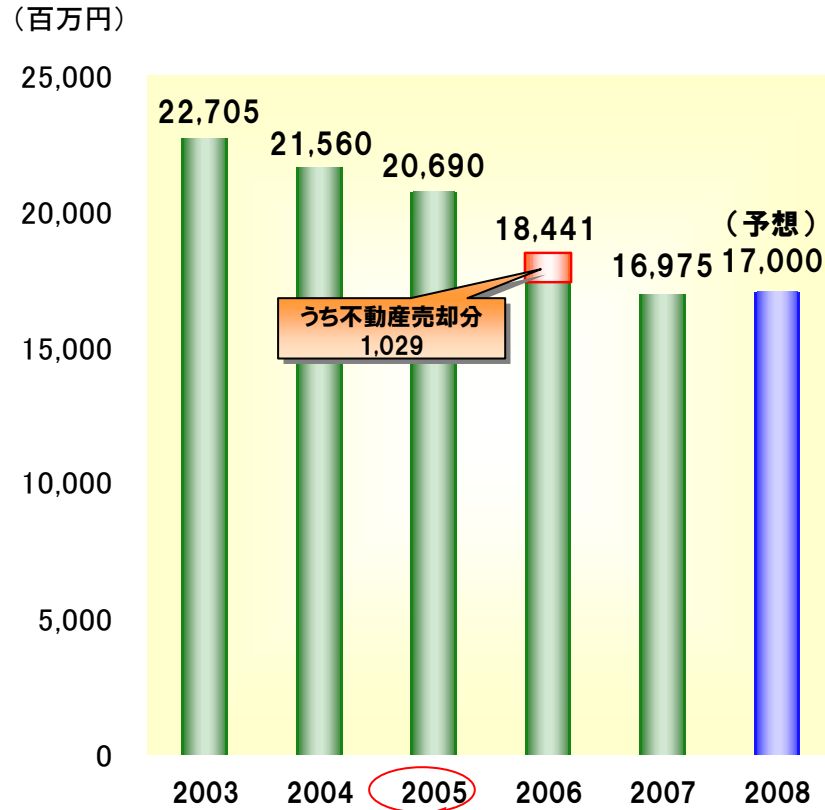
CM

- ソフト&ソフト 平成元年(1989年)発売
- チーズ蒸しパン 平成2年 (1990年)発売
- ブランジェ 平成10年(1998年)発売
- 北の国のベーカリー 平成11年 (1999年)発売
- 絹艶 平成17年 (2005年)発売

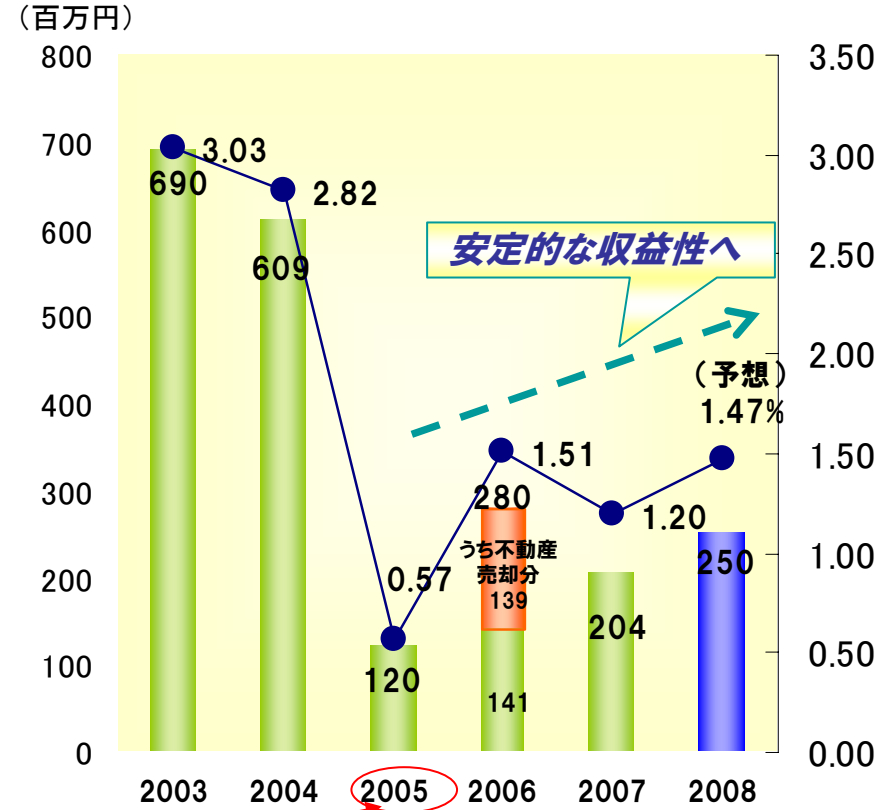


業績推移

■ 売上高 (連結)



■ 経常利益 (百万円)
■ 売上高経常利益率 (%)



2005年3月末に、麺類・食品事業から撤退

	2003	2004	2005	2006	2007	2008 (予想)
売上高	(百万円) 22,705	21,560	20,690	18,441	16,975	17,000
営業利益	(百万円) 784	689	159	298	222	
経常利益	(百万円) 690	609	120	280	204	250
売上高経常利益率	(%) 3.03	2.82	0.57	1.51	1.20	1.47
総資産	(百万円) 16,570	16,559	14,731	13,713	13,398	

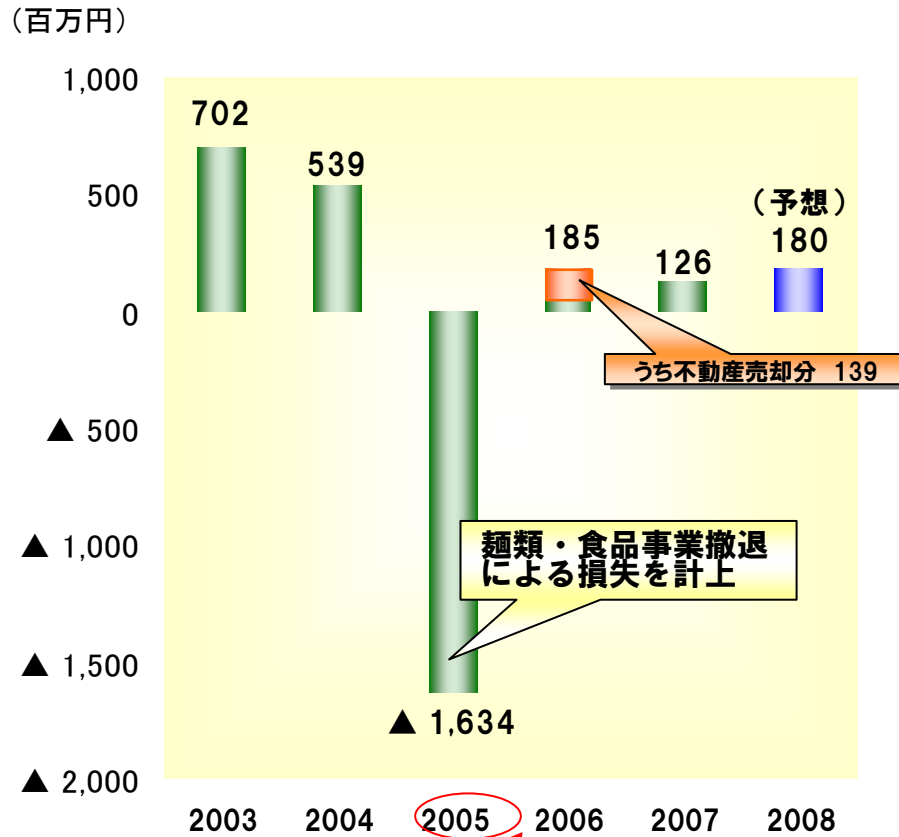
目標とする経営指標
2010年(平成22年)3月期
売上高170億円
経常利益3億5千万円

業績推移

日糧製パン(株)及び連結子会社

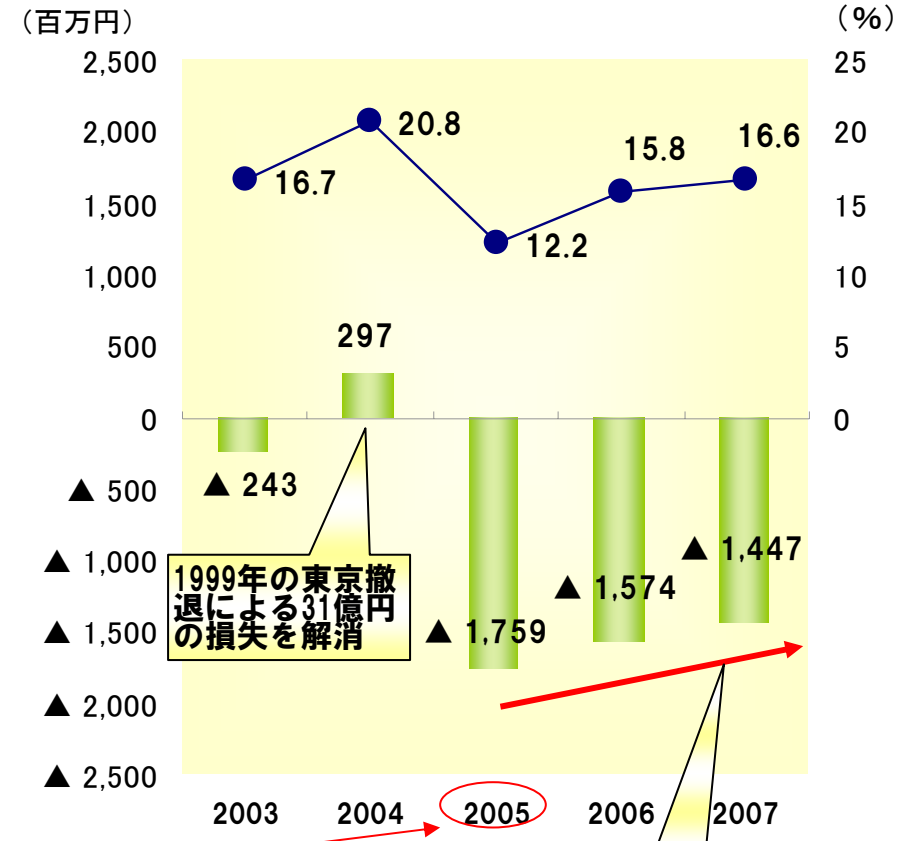
3月31日事業年度終了時

■ 当期純利益 (連結)



■ 繰越損失額 (百万円)

■ 自己資本比率 (%)



	2003	2004	2005	2006	2007	2008 (予想)
当期純利益 (百万円)	702	539	▲ 1,634	185	126	180
1株当たり当期純利益 (円)	33.38	25.67	▲ 77.79	8.83	6.04	8.57
自己資本比率 (%)	16.7	20.8	12.2	15.8	16.6	
株主資本利益率(ROE) (%)	25.37	15.67	▲ 90.98	8.55	5.68	
繰越損失額の推移 (百万円)	▲ 243	297	▲ 1,759	▲ 1,574	▲ 1,447	

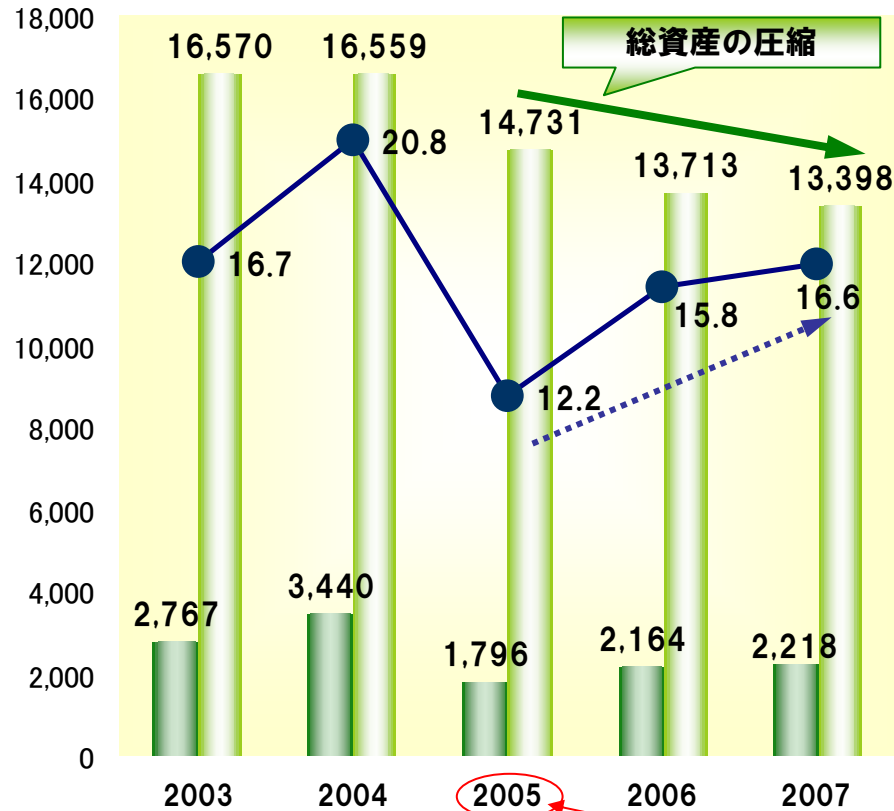
業績推移 (総資産・負債)

日糧製パン(株)及び連結子会社

3月31日事業年度終了時

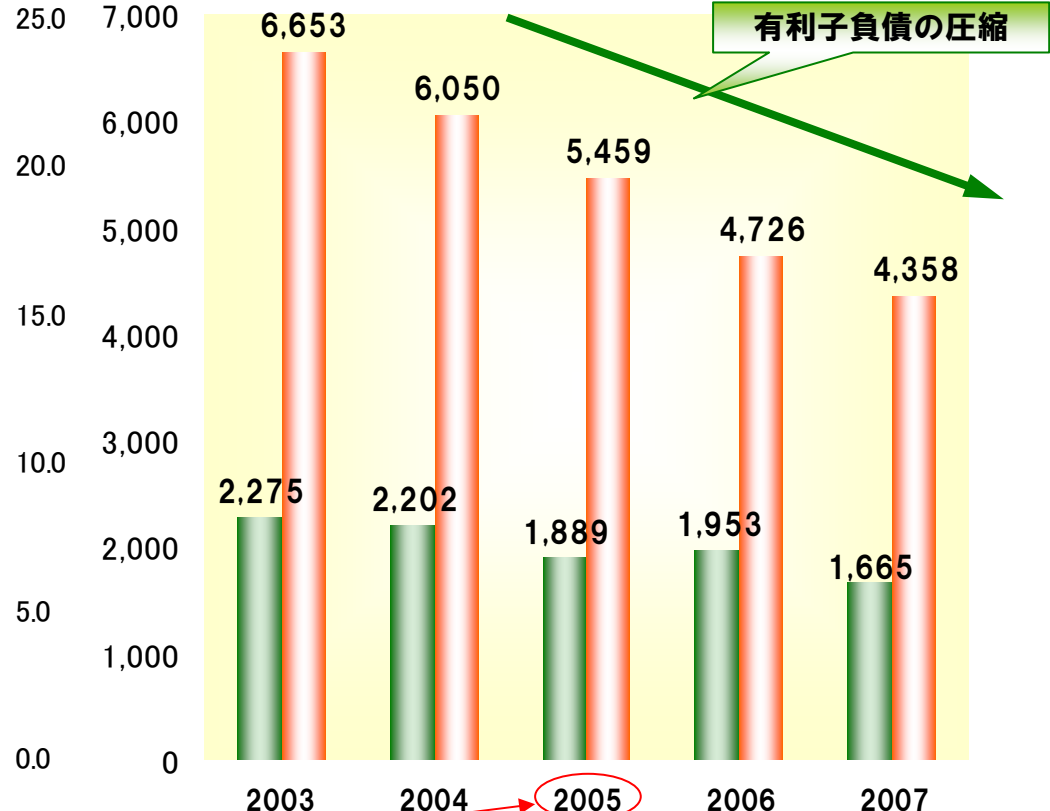
■株主資本推移 (連結)

(百万円)



■現預金・有利子負債推移 (連結)

(%) (百万円)



2005年3月末に、麺類・食品事業から撤退

不採算事業の整理で総資産圧縮、一時的に自己資本比率悪化も2006年以降は改善、有利子負債を圧縮し、財務内容の改善を進行中

① 会社概要

② 経営理念

③ 食品安全への取組み

④ 中期経営計画

⑤ 株主還元

日糧製パン株式会社の経営理念

Mission ミッション（果たすべき使命・役割）

いつも安心できるおいしさと信頼感で
人と環境にやさしい企業

Vision ビジョン（達成すべき企業像）

北海道の活性化に貢献する
“真の北海道企業”への成長

Mission ミッション（果たすべき使命・役割）

いつも安心できるおいしさと信頼感で
人と環境にやさしい企業

- いつも道民の皆様の食生活へ**安全で安心**できるおいしさ提供します。
- 当社は、道民の皆様へ**信頼**される企業となるべく努力します。
- 株主様、お客様、従業員**と共に成長できる企業を目指しています。
- 環境**へ配慮した工場や生産体制を構築するよう努力します。

Vision ビジョン（達成すべき企業像）

北海道の活性化に貢献する
“真の北海道企業” への成長

北海道の活性化とは？

- **道民の皆様の豊かで健康的な食生活にパン・菓子等を通じて貢献します**
- ① **安全・安心で健康的なおいしい商品をお届けします**
- ② **北海道産の素材をいかした商品をお届けします**
- ③ **あらゆる食情報を活用した優れた商品をお届けします**

① 会社概要

② 経営理念

③ 食品安全への取組み

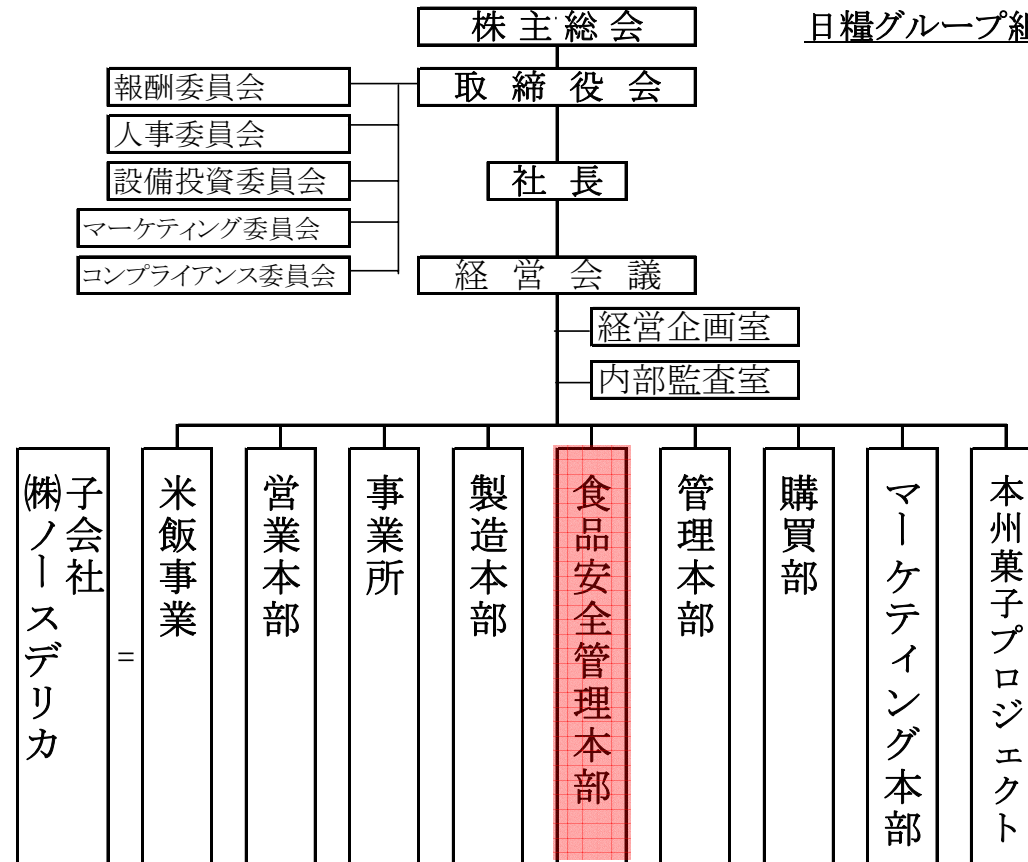
④ 中期経営計画

⑤ 株主還元

食品安全への取り組み 品質保証体制

食品安全管理本部を中心とし、全社で取り組んでおります。

日糧グループ組織図



主要な取組み

5S活動 「TOP21活動」

AIBフードセーフティ指導・監査システムの導入

食品安全への取り組み 品質保証体制

5S活動「TOP21活動」

1997年より開始 10年間活動を継続中

5Sとは

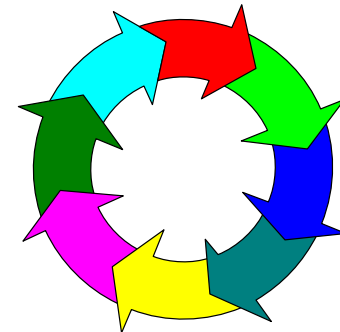
整理・整頓・清掃・清潔・しつけ

「仕事の基本は5S、5Sなくして改善なし」

目的

- ・商品事故の防止と削減
- ・安全確保
- ・業務効率化によるコスト削減や生産性向上
- ・品質向上
- ・人材育成、従業員の意識改革促進

この活動はエンドレス



食品安全への取り組み 品質保証体制

AIBフードセーフティ指導・監査システムの導入

目的

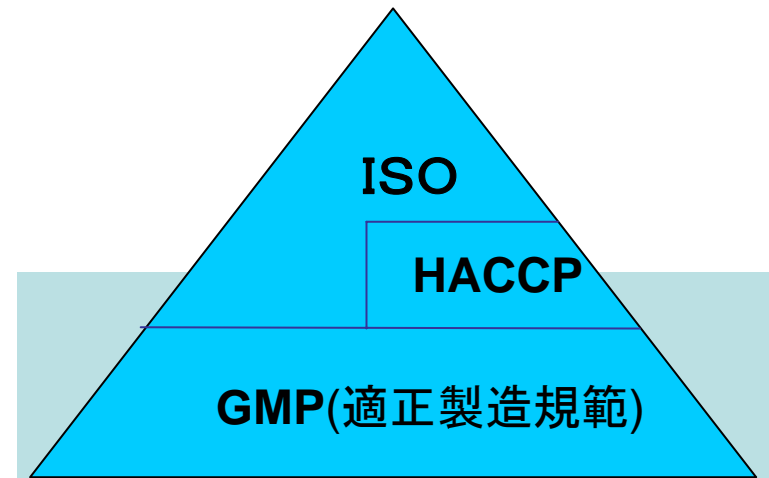
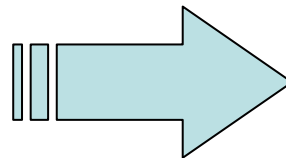
食品の安全性を脅かす全ての可能性を排除 すること

システム採用の理由

HACCPやISOが効果を発揮するには、
基礎となるGMP(適正製造規範)の構築が不可欠であり、
AIBの食品安全統合基準は現場重視の実際的なプログラムである。

AIBの食品安全統合基準

1. 食品安全衛生プログラムの妥当性
2. 有害生物防除
3. 作業方法と従業員規範
4. 食品安全のためのメンテナンス
5. 清掃活動



出処：(社)日本パン技術研究所

日糧製パン株式会社

Copyright© 2007 Nichiryo Baking Co., Ltd, Inc All Rights Reserved

食品安全への取り組み 品質保証体制

AIBフードセーフティ指導・監査システムの導入

- 2003年6月 本社月寒パン工場において取組み開始
- 2005年1月 食品安全委員会スタート
- 2005年9月 月寒パン工場 合格
- 2007年3月 月寒パン工場 エクセレント合格
- 2007年5月 釧路工場 エクセレント合格

他工場での取組みも開始、2009年度までに
全工場でのAIB監査合格をめざす

- 2008年 4月 琴似工場 監査受審予定
- 2008年10月 月寒菓子工場 監査受審予定
- 2009年 4月 函館工場 監査受審予定

AIB 合格証



KT

① 会社概要

② 経営理念

③ 食品安全への取組み

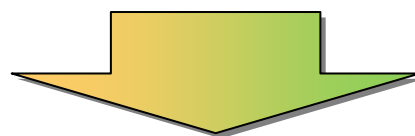
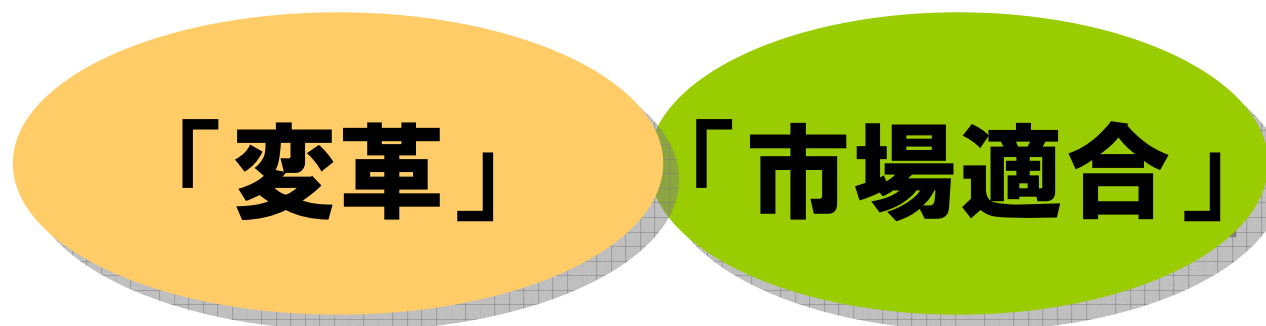
④ 中期経営計画

⑤ 株主還元

中期経営計画について

当社は、ビジョンを実現させるための施策として中期経営計画を策定しています

中期経営計画の基本方針

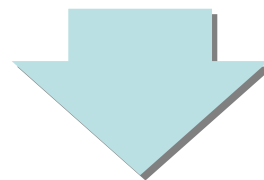


北海道の活性化に貢献する
“真の北海道企業” への成長

中期経営計画の施策

5つの戦略

市場適合のための戦略
現事業構造の再構築
北海道ブランドの創造
内部統制システムの再構築
人材育成



目標とする経営指標
 2010年（平成22年）3月期
 売上高170億円
 経常利益3億5千万円

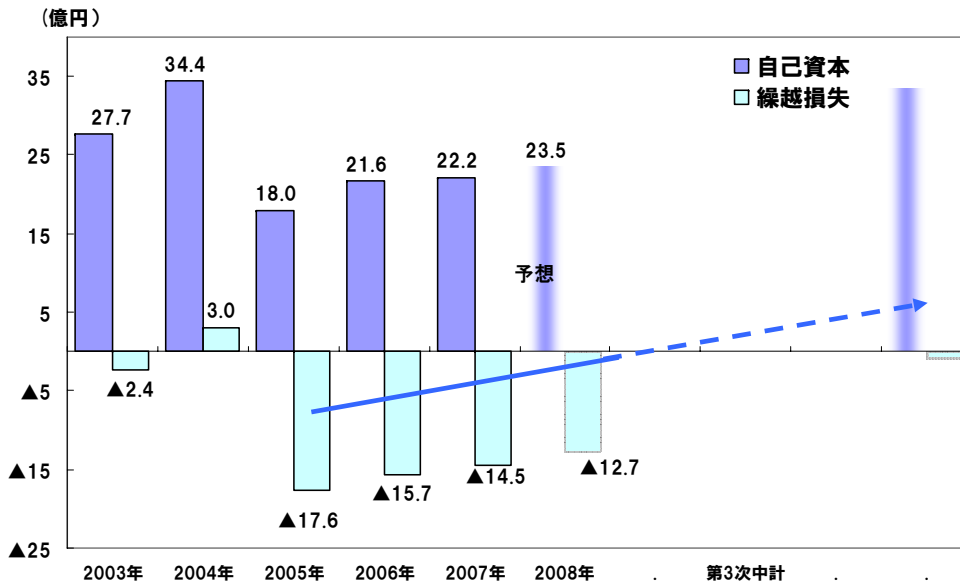
繰越損失の解消・復配の実現などを目指していきます

中期経営計画

復配をめざし繰越損失の早期解消に向けて
安定的な収益確保のための施策



- ◆第1のステップ 売上高が大きく伸びない中でも収益性を安定的に確保する
- ◆第2のステップ(第3次中計) 繰越損失の早期解消



第3次中期経営計画中に
 繰越損失を早期解消し、
 復配の実現へ

① 会社概要

② 経営理念

③ 食品安全への取組み

④ 中期経営計画

⑤ 株主還元

株主還元

当社のパン・菓子をご愛顧いただき、
『日糧パン』を応援いただける

『お客さまサポーター株主』の皆さま
と共に

『真の北海道企業』へ成長していきたい



株主優待制度を新設します

株主還元

株主優待制度

2008年3月期末より、新設いたします。

北海道企業である弊社製品を通じて、
当社事業へ一層のご理解と製品をご愛顧をいただき、多くの株主様に
株式を長期保有していただきますよう、株主優待制度を新設いたします。

対象となる株主様

年1回、毎年3月31日（基準日）現在の
株主名簿、および実質株主名簿に記載された
1単元（1,000株）以上を保有されている株主様を対象といたします。

優待の内容

上記の対象株主様1記名に対して、
販売価格2,000円相当の当社製品を贈呈いたします。

贈呈の実施時期

毎年7月～10月頃の送付を検討いたしております。

注意事項

この説明会資料に掲載されている、日糧製パン株式会社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、本資料公開日における当社に関する公開情報、及び、当社が本資料の作成時点において行った将来の業績に関する見通しに基づき記載されています。これらの記載は将来の業績を保障するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従って、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なることになる可能性があることをご承知おきください。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。



**本日はありがとうございました。
当社製品をお土産として用意いたしておりますので、
ぜひご賞味下さい。**